

2016年12月15日
株式会社インテリジェンス

インテリジェンス、総合福利厚生サービスを本格開始 家事シェアサービスに加え、総合的なメニューを提供

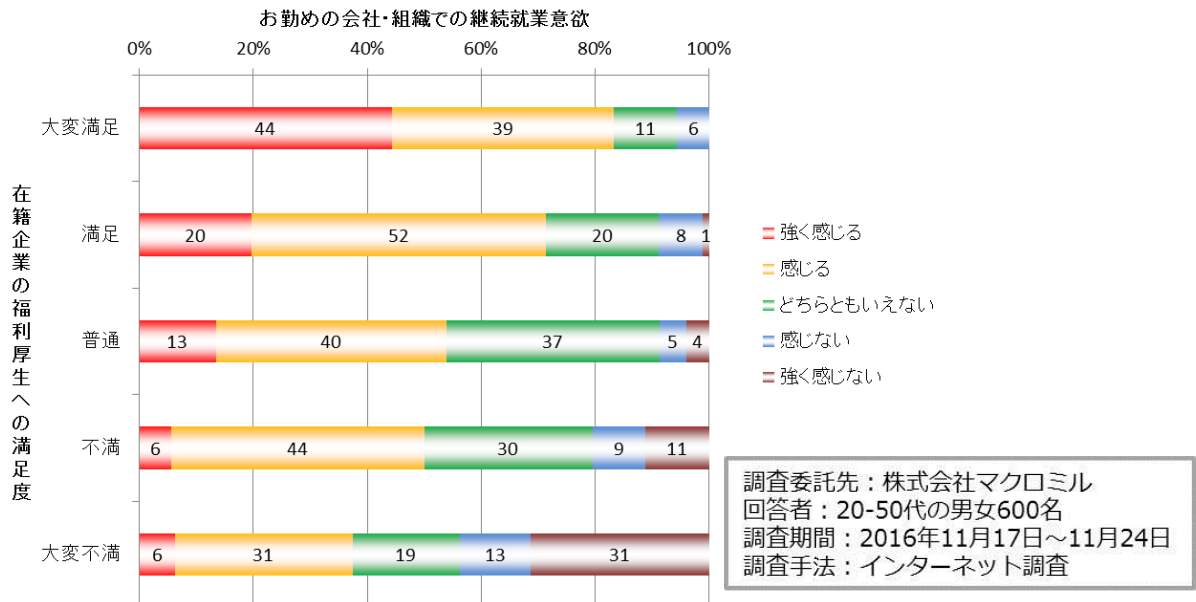
～シヨコラ (share of co life) が福利厚生サービスをワンストップでリーズナブルに提供～

総合人材サービス、パーソルグループの株式会社インテリジェンス（本社：東京都千代田区、代表取締役兼社長：峯尾 太郎、以下インテリジェンス）の法人向け福利厚生型家事シェアサービス「シヨコラ (share of co life)」は、2017年1月よりサービスメニューを大幅に拡充し、総合的な福利厚生サービスの提供を本格開始します。家事シェアサービスから国内・海外旅行、レストラン、レジャー、スポーツ、ショッピング、育児・介護まで、約20万種以上にもおよぶ多彩な福利厚生サービスをワンストップでリーズナブルに提供してまいります。

（法人向けサイト：<https://shocola.jp/company/>）

■背景 1 - 従業員のリテンション対策に有効 今見直される福利厚生

少子高齢化を背景とした労働力人口の減少が経営課題となる中、既存従業員のリテンション対策や新たな人材確保を強化する企業は少なくありません。2015年度に企業が負担した月間の平均福利厚生費は、従業員1人に対し11万627円(前年度比2.1%増)と、調査以降初めて11万円を超える（※1）など、企業が福利厚生を重視する姿勢が鮮明となっています。当社の調査でも企業への帰属意識・ロイヤリティの高さは、福利厚生の満足度と相関する結果となりました（下記グラフ参照）。今後ますます企業は、既存従業員の流出を防ぐとともに新たな人材を獲得するためにも福利厚生を重視する傾向にあります。



■背景 2 - 総合福利厚生サービスのアウトソーシングニーズの高まり

当社の家事シェアサービスを導入する企業では、従業員の価値観やライフスタイルの多様化にともない、従業員一人ひとりのニーズにあわせた選択型の総合福利厚生サービスニーズが高まっています。しかし自社単独で導入するのは、コスト面から運用面からも困難です。今後、運用の手間をかけずにリーズナブルに導入可能なアウトソーシングニーズはさらに高まることが予想されます。

■ サービスの特徴

今回、開始する総合福利厚生サービスは、大手福利厚生代行企業との提携により、月額 300 円×従業員数とリーズナブルなコストで利用が可能です。導入企業は、当社がこれまで提供してきた家事シェアサービスに加え、国内・海外旅行、レストラン、レジャー、スポーツ、ショッピング、育児・介護など約 20 万種以上におよぶ多彩な福利厚生サービスを従業員に提供可能となります。

サービス開始にあたり、2016 年 12 月 15 日より、初期導入費や導入月の月額費が無料となる法人向けのトライアルキャンペーンを開催します。

当社は今後も従業員一人ひとりのニーズに即した総合的な福利厚生サービスをワンストップでリーズナブルに提供することで、企業の**従業員満足度向上やダイバーシティの推進を支援し、人材採用力、採用ブランディングの強化**に寄与してまいります。

※本事業は 2017 年 1 月以降、インテリジェンスよりパーソルテクノロジースタッフ株式会社に移管いたします。

(※1) 2016 年 12 月 9 日 日本経済連合会 「2015 年度（第 60 回）福利厚生費調査結果」より

【今だけ】サービス拡大記念！トライアルキャンペーン ～ショコラを無料で導入可能～ 概要

初期導入費	100,000 円～ → 無料
月額費	300 円×従業員人数 → 導入月の月額費用が無料
利用体験	導入前に無料体験プレゼント
期間	2016 年 12 月 15 日（木）～3 月 31 日（金）
U R L	https://shocola.jp/company/

「PERSOL（パーソル）」について

パーソルは、2016年7月に誕生した新たなブランドです。ブランド名の由来は、「人は仕事を通じて成長し(PERSON)、社会の課題を解決していく(SOLUTION)」。働く人の成長を支援し、輝く未来を目指したいという思いが込められています。

パーソルグループは、人材派遣のテンプスタッフ、人材紹介や求人広告のインテリジェンスを始めとし、ITアウトソーシング、設計開発にいたるまで、国内外90社を超える幅広い企業群で構成されています。グループのビジョンである「人と組織の成長創造インフラへ」を実現するために、労働・雇用の課題の解決に総合的に取り組んでいます。

■参考資料

「ショコラ (share of co life)」：法人向け福利厚生型家事シェアサービスの実績

当社では2016年1月より、女性活躍やダイバーシティ、メンタルヘルス、ワークライフバランスの推進など、企業の人事課題を、従業員の日常生活の支援を通じて解決する福利厚生サービスとして、家事シェアサービス「ショコラ」を展開してきました。現在、対象従業員100,000名、20社以上の企業に導入が進んでいます。一般的に家事シェアサービスは、「価格が高い：53%」や「他人を家に入れることへの抵抗感：37%」などの理由により利用率は2%程度（※2）です。しかし、当社導入企業では、福利厚生として導入することで利用のハードルが下がり80%と高い利用率となっています。

【家事シェアサービス提供時の写真】



レンジフードの油汚れもすっきり

お風呂の目地もピカピカに

平日できない掃除機がけも

鏡に付いた水垢も

福利厚生型家事シェアサービス概要

福利厚生導入価格	1 従業員あたり月額 300 円（別途 初期費用 10,000 円から）
サービス利用価格	2 時間 5,000 円 ※利用各社により異なります
対象サービス	掃除（リビング、居室・お風呂・キッチン・洗面・トイレ 等）、洗濯 ※今後拡大予定
対象エリア	東京都（23 区、23 区外）、神奈川、埼玉、千葉県の都市部 ※今後拡大予定
サービス提供日	土・日・祝
サービス提供時間	10 時・13 時・16 時・19 時開始から 2～3 時間
導入企業のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・家事代行サービスにより従業員の生活を支援することで、会社だけではケアすることが難しい従業員のプライベートや内面的な課題解決のサポートをします。 ・単身男性、共働き世帯、子育て女性、離れて暮らすご家族まで、年齢や性別によらず幅広い従業員の方がご利用可能です。 ・ワンストップで総合的な福利厚生を強化することができ、従業員のロイヤリティの向上、人材採用力の向上、ダイバーシティの推進など様々な人事課題の解決にご活用いただけます。

（※2）2014 年 4 月 14 日 経済産業省「家事支援サービスについて」より